



インフルエンザの流行期に入りました

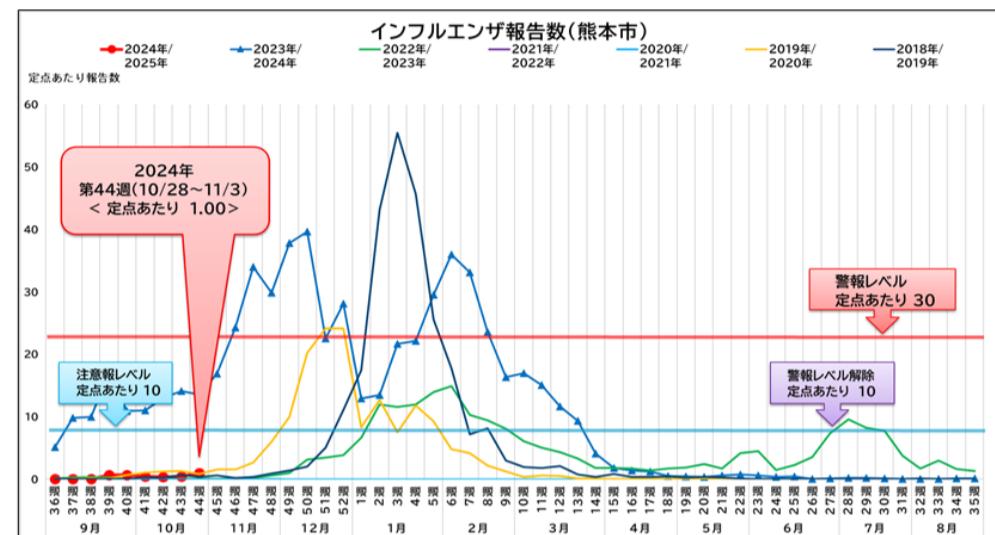
2024年第44週(10月28日～11月3日)の発生動向調査において、熊本市内の定点医療機関からのインフルエンザ報告数は26件(1定点医療機関当たり1.00)で、流行開始の目安である「1」を上回り、流行期に入りました。いったん流行が始まると、短期間に多くの人が感染が拡大する恐れがあります。手洗い・うがい等の基本的な感染対策により、感染を予防しましょう。

主な症状

38°C以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。

予防対策

- ① 流行前のワクチン接種
- ② 外出後の手洗い等
- ③ 適度な湿度(50～60%)の保持
- ④ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ⑤ 人混み等の混雑した場所への外出を控える
- ⑥ 室内ではこまめに換気をする



定点種別	疾患名	状況	43週(10/21～10/27)		44週(10/28～11/3)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
CIOンフイルディエンザ	インフルエンザ	—	11	0.44	26	1.00
小児科	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	△	28	1.12	24	0.92
	RSウイルス感染症	△	2	0.13	4	0.24
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	3	0.19	8	0.47
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	37	2.31	40	2.35
	感染性胃腸炎	—	48	3.00	42	2.47
	水痘(みずぼうそう)	—	1	0.06	1	0.06
	手足口病	○	135	8.44	168	9.88
	伝染性紅斑(りんご病)	—	1	0.06	4	0.24
	突発性発しん	△	10	0.63	8	0.47
眼科	ヘルパンギーナ	—	3	0.19	2	0.12
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	1	0.06	0	0.00
基幹	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	11	2.20	13	2.60
	細菌性髄膜炎	△	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	△	0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	△	12	2.40	15	3.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	△	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	△	0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし